



K A O R I  
芳香

第73号

# 芳香 KAORI 73号目次

巻頭言 令和5年度の活動状況報告	木原章雄	1
異動のご挨拶		
新任 天然物合成化学研究室 教授	長友優典	2
薬剤分子設計学研究室 教授	山田勇磨	3
生体分析化学研究室 准教授	家田直弥	4
臨床薬剤学研究室 助教	岡本敬介	5
転出 京都大学大学院理学研究科 教授	松永茂樹	5
関西医科大学附属光免疫医学研究所統括部門 准教授	高倉栄男	6
大学院薬学研究院の動き・人事異動		7
話題の薬		
① パキロビッド®バック (ニルマトレルビル錠/リトナビル錠)	佐藤優	(59期) 9
② アルツハイマー病治療薬 レケンビ®点滴静注 (レカネマブ)	仁木加寿子	(43期) 10
研究最前線		
① 痛みによる不快情動生成の神経機構～痛いのはなぜ嫌なのか～	南雅文 (薬理学研究室 教授)	13
② 3つのパラダイムシフト	原島秀吉 (未来創剤学研究室 卓越教授)	16
芳香 SCIENCE		
なぜ、新型コロナウイルス感染症はこんなに長く続くのか?	黒田誠	(52期) 20
微弱電流による薬物の皮内送達—皮膚組織細胞の生理機能変化を利用して—	小暮健太郎 (旧教員)	32
化学情報データベースの作成者と利用者の両方の立場から	輔田真	(42期) 35
Seeking enigmas of G protein-coupled receptors: 札幌→徳島 (經由ツーソン・千葉)	藤野裕道	(35期) 39
医薬特許について	小柳正之	(24期) 44
抗体医薬品の命名ルールの変更について— <i>mab</i> から— <i>tug/-bart/-mig/-ment</i> へ	川崎ナナ	(27期) 48
デジタルセラピューティクス (DTx) の実用化と課題	小林博幸 (1999年博士課程修了)	50
医薬品等の規制を司る薬系技官とは? その歴史、現状と展望—グローバル時代に生き残るために—	津田重城	(24期) 55
北海道大学大学院薬学研究院における臨床研究の方向性	井関健	(22期) 61
芳香 ESSAY		
病院薬剤師業務の四半世紀の変遷	武隈洋	(38期) 66
医局所属の薬剤師となって思うこと～薬剤師に求められる職能とは～	石川修平 (2021年臨床薬学専攻修了)	68
ベンチャー起業によせて	福川清史 (研究生)	71
「街の科学者である」ということ	森厚司	(33期) 74
沖縄県勤務の薬剤師からの近況報告	中村克徳	(37期) 78
挑戦を許容する魔法の言葉「Boys, be ambitious!」—ベンチャーという選択肢—	尾川直樹	(35期) 79
薬学部卒業後に農学部を出て社会科学研究者をしています	岩松真紀	(30期) 81
医薬品分野以外での薬剤師の資格の活用にかかわる余計なお話	渋谷進	(11期) 84
芳香 REPORT		
久々の24期同期会のご報告—第二部 ウポポイ漫遊記を含む—	津田重城・山下康子	(24期) 89
4年ぶりの再会を喜び合う	伊藤恵夫	(5期) 91

横沢英良先生を偲ぶ会開催報告	石内 勘一郎 (47期)	92
衛生化学講座／小山・長澤研同門会の報告～長澤滋治先生を囲む会を終えて～	山下 康子 (24期)	93
休眠明けの「薬学三期会」	前野 俊男 (3期)	94
同窓会のページ		
会長挨拶		
日本の民主主義を取り戻せ！ ～同窓会長3年半の総括に代えて～	松田 彰 (15期)	98
同窓生からの寄稿		
1期 関 哲夫	7期 川尻 美喜枝	10期 奥山 修策
12期 土田 清美	14期 澤谷 拓治・吉川 玲子	15期 田中 順江
16期 工藤 裕子	19期 藤田 由紀子	20期 尾上 昌毅・富塚 俊昭
25期 佐々木 正克	27期 佐々木 啓子	28期 篠田 雅彦
29期 中村 千香子・柳 比奈子	31期 依田 理恵	32期 南川 奈保美
33期 八嶋 隆博	34期 海藤 功一	40期 見田 織恵
大学院 高梨 哲也	42期 小野 尚志	大学院 藤岡 優子
45期 柴原 憲仁	46期 高野 太樹・橋場 剛	50期 日高 和宏
54期 勝瀬 一樹	56期 山田 早	57期 鈴木 拓郎
		103
2023 (令和5) 年3月 卒業生名簿・卒業生の進路		119
2023 (令和5) 年度 同窓会活動報告		121
北海道大学薬学部同窓会 2022 (令和4) 年度 会計報告		123
2023 (令和5) 年度 北海道大学薬学部同窓会役員・幹事		124
北海道大学薬学部東京同窓会 2023 年総会 報告		126
北海道大学薬学部関西同窓会 2024 年度総会・講演会・懇親会のお知らせ		128
北海道大学薬学部 第24回生涯教育特別講座の開催		129
2023 (令和5) 年度「先輩と語る」講演会報告		129
薬学祭 2023		130
データサイエンスやLLMの薬学への活用	芳香編集委員会	131
編集後記		133

表紙：薬草園の桜から見た総合研究棟